

◇和解について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇損害賠償額の決定について
ほか2件
職員が物品を積んだ台車を前方不注意により相手方に衝突させ、傷害を負わせたことに対する損害賠償額（5万7千978円）について、特別区自治体総合賠償責任保険を適用する事件であるが、損害保険会社と交渉を継続した結果、慰謝料が追加支給（8万円）されたもの

◇債権の放棄について
ほか49件
信用保証料補助金返還金

◇平成30年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告
実質赤字比率 1%
連結実質赤字比率 1%
実質公債費比率 △3.4%
将来負担比率 1%

◇訴えの提起について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還金を滞納した相手方に対し、未償還金の支払等を請求するもの

◇和解について
ほか1件
応急小口資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員候補者として箕進氏、市村智氏、鈴木又右衛門氏、橋本優氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議ないものと答申しました。

◇高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書
（意見書要旨は別掲）
生懸系への影響が深刻化するプラスチックごみ対策の強化を求める意見書

◇権利擁護支援の地域連携ネットワークへの行政書士の参画を求める陳情

◆採択したもの
◆みなさんからの請願・陳情
◆採択したもの

◆高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書
豊島区池袋で今年4月に87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

◆高齢運転者による死亡事故の割合は高まっており、ブレーキとアクセルの踏み間違いなど単純ミスによる事故も目立つ。警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保有者は一定の違反行為をした時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

よって、足立区議会は政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、左記事項について早急に取り組むことを強く求めるものである。

1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」（サポカーS）や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2 高齢運転者による交通事故を減らすため、「安全運転サポート車」（サポカーS）に限定した運転免許制度を創設すること。

3 高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、運転免許証を自主返納した高齢者に、地方自治体などが行うタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長あて）

国際社会では、増え続けるプラスチックごみ問題への対策として、使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の規制に踏み込み、生産・使用そのものを削減する流れが広がっている。しかし日本では、規制は設けられておらず、削減の取り組みは企業の自主努力任せとなっている。日本がプラスチックごみの排出量を減らしていくためには、廃棄・リサイクル段階のみならず、製造・流通・販売の各段階においても実効性ある施策を進めるための法整備が一刻も早く求められている。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策を強化するため、左記事項の実現を強く求めるものである。

1 プラスチックごみについては、国内での回収・処理を最優先とするほか、海へ流出するごみの量を極力抑えるため、日本が国際連携の枠組みの構築や、アジア諸国への技術支援・協力に対して主体的・先導的役割を果たしていくこと。さらに、プラスチック資源として再利用することを基本とした処理システムを一刻も早く構築すること。

2 使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の各段階においても、削減の取り組みを企業・業界の自主努力任せとせず、国として新たに削減に向けた法制度の検討を図ること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣あて）

【いずれも10月21日議決】

意見の分かれた案件（45件中10件）

—その他の案件（35件）は、全会一致で可決されました。

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会改革を全力で推し進める会 無派…無党派

※○…賛成 △…継続 ×…反対 欠…欠席 産…産休 育…育休 介…介護 看護休 除…除斥 退…退出

Table with columns for party names (自民, 公明, 共産, 立民, 改革, 無派) and rows for various council resolutions (e.g., 平成30年度足立区一般会計歳入歳出決算, 令和元年度足立区一般会計補正予算).